

平成30年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

教育委員会

# 目 次

I	平成30年度教育委員会主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	5
III	歳入歳出決算額	17
1	一般会計決算額	17
	(1) 歳入決算額	17
	(2) 歳出決算額	18
2	特別会計決算額	19
	(1) 歳入決算額	19
	(2) 歳出決算額	19

## I 平成30年度教育委員会主要施策の成果の概要

〈徳島教育大綱（平成27年度～30年度）の基本目標〉

『とくしまの未来を切り拓く，夢あふれる「人財」の育成』

### 1 地方創生から日本創成へ！「徳島ならではの」教育の推進

（施設整備課，教育創生課，学校教育課，特別支援教育課，体育学校安全課，総合教育センター）

#### （1）個性，可能性を最大限に伸ばす教育の推進

変化の激しい時代を生きる子供たちが，それぞれの個性や能力に応じてこれからの社会を生きぬいていく力を身に付け，可能性をしっかりと開花させる教育を推進するため，「多様で特色ある能力・個性を伸ばす教育の推進」「次代を生きぬくキャリア教育の推進」「障がいによる困難を克服し，個性輝く自立を支援」を三本柱とした事業を展開した。

特に，農工商一体教育，高大接続教育，産業界連携研究を行う「阿南光高校」の教育環境整備を進めるとともに，商品開発から販路拡大までを一体的に行う徳島ならではの「6次産業化実践教育」のさらなる進化・発展を図った。

また，家庭や地域・企業等と積極的に連携した「キャリア教育」を推進するとともに，特別な支援を必要とする子供たちのさらなる活躍を目指した事業を実施した。

#### （2）人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり

人口減少が急速に進む地域の高校において，その魅力化や活性化を通じて地域の新たな活力を創出するため，豊かな資源を活かした教育プログラムを構築し，県内外から生徒が集う学校づくりを進めた。

また，小規模化する学校を存続させ，かつ教育の質を保障する徳島モデルの小中一貫教育として「チェーンスクール」「パッケージスクール」の全県展開を図るとともに，二地域居住を促進するため，地方と都市の学校間移動を容易にする「デュアルスクール」の実証研究によるモデル化を進めた。

### (3) 徳島からの「教育イノベーション（技術革新）」

第4次産業革命時代の未来社会で活躍できる人材を育成するため、小学校段階でのプログラミング教育の実施に向けて調査研究を行うとともに、教職員の指導力向上を図った。

また、小規模化が進む高校において、多様な教育活動を展開するため、生徒の学習ニーズに応じた遠隔授業の実施体制を構築した。

さらに、教育ビッグデータの分析・活用方法について検証するとともに、生徒の理解を深める授業を実践するため、学校におけるICT環境の充実を進めた。

### (4) 災害を迎え撃つ防災教育の推進

南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害等に備え、地域防災の担い手となる人材を育成するため高校生の「防災士」の資格取得を一層推進するとともに、中学校、高校の「防災クラブ」が自主的な活動を行う体制づくりを進め、地域に根ざした積極的な防災活動を展開した。

また、児童生徒が、安全・安心に学ぶことのできる教育環境の実現に努めるとともに、県立学校を中核的な避難所と位置づけ、避難所としての機能強化を図るため、必要な施設を整備した。

## 2 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進

(教職員課、福利厚生課、学校教育課、人権教育課、体育学校安全課、生涯学習課)

### (1) 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

子供たちが、心身ともに健康で、幅広い知識や教養、豊かな情操、道徳心などをバランスよく習得し、総合的な人間力を高めるため、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する教育を推進した。

特に、県・国の学力調査等で明らかになった課題の克服を行うため、授業や家庭学習に活用できる学力向上確認プリントの活用や、大学等の専門的知見・技術をいかした「授業改善」等による「学力の向上」に着実に取り組むとともに、スクールカウンセラー等の専門家による教育相談体制の充実、子供たちの「体力の向上」さらには健康課題である「肥満予防」、「肥満対策」、「生活習慣の改善」に向けた取組を進めた。

また、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進するとともに、子供たちの命を守り抜くため、命や心に関する主体的な学びの充実を図った。

幼児教育においては、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児期の成長を支える取組を推進した。

## (2) 未来を拓く教職員の育成

教員の知識・技術等の継承を推進するとともに、新しい時代の教育に対応できる教職員を育成するため、「とくしま教員育成指標」を踏まえた、キャリアステージに応じた研修の実施や優秀な教職員の確保、心身の健康保持・増進を図った。

また、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制の整備や部活動の活性化を図るとともに、教員の負担軽減につながるため、外部人材の活用を推進した。

## (3) 学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進

地域総ぐるみで未来を担う子供たちの成長を支えるため、地域住民等の参画により、学校・家庭・地域が連携・協働して、学校教育活動を支援する体制を整備し、放課後や週末等における豊かな教育環境づくりを進めた。

また、家庭教育に関する研修会などにおける中心的な役割を担う人材を育成し、家庭教育力の向上と社会全体で家庭教育を支援する気運の醸成を図った。

さらに、特別支援学校等卒業後の障がい者の自立と社会参加を促進するため、各種講座を開催し、生涯を通じた多様な学習活動を支援した。

## (4) 時代の潮流を見据えた学びの推進

消費庁等と連携し、発達段階に応じた「消費者教育」の一層の推進を図るとともに、「エシカル消費」推進に取り組む高校生による「エシカルフェス」の開催、「エシカル消費・リーディングスクール」、「エシカルクラブ」の拡大に取り組んだ。

また、特別支援学校の生徒の社会参加と能力開発を推進するため「エシカル消費」の活動にチャレンジするなど全国モデルとなる実践的な取組を推進した。

さらに、選挙管理委員会と連携し、社会に参加し、自ら考え、自ら判断する主権者を育成するための「主権者教育」の充実に取り組んだ。

## 3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進

(施設整備課，学校教育課，グローバル・文化教育課，体育学校安全課，文化の森振興本部)

### (1) 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進

「ふるさと徳島」への誇りや郷土を愛する心を醸成するため、伝統文化や文化財の継承に資する教育を進めるとともに、「あわ文化」の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」の育成や活躍の場の拡大を図った。

## (2) 世界に羽ばたくグローバル人財の育成

新学習指導要領や新たな大学入試制度に対応するため、「聞く・話す・読む・書く」の英語力を身につけた児童生徒を育成するため、教員の指導力・英語力向上に取り組むとともに、中学校・高校の全ての学年で、生徒の英語力の検証・分析を行い指導改善に繋げた。

また、「Tokushima英語村プロジェクト」など、本県独自の取組において、コミュニケーション能力、語学力はもとより、総合的な人間力を高め、次代のトップリーダーとして育成し、世界に羽ばたく教育を推進した。

さらに、海外留学や海外大学進学を目指す中学生、高校生の支援などにより、グローバルな視点と地域（ローカル）の視点を兼ね備えた世界を舞台に活躍できるグローバルな人財の育成に努めた。

## (3) 国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成

東京オリンピック・パラリンピックの「文化プログラム」を見据え、「第38回近畿高等学校総合文化祭徳島大会」を開催し、全国に本県の文化芸術力を発信するとともに、「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「阿波おどり」「ベートーヴェン第九」といった「あわ文化」の継承・普及に取り組む児童生徒の活動を支援した。

また、オリンピック等の国際大会で活躍する選手を育成するため、高校スポーツの競技力向上を着実に図るとともに、小・中学生世代から将来性のある選手の発掘、新たな可能性を秘めた有望競技の育成を進めた。

さらに、徳島ならではの「レガシー」として未来に継承されるよう、徳島科学技術高校の「アーチェリー」、「ウエイトリフティング」、「弓道」の3競技の施設を重層的に一体整備した。

## (4) 世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

新たに膜構造屋根が設置され、全天候型の劇場に生まれ変わった文化の森「新生・野外劇場」において、様々なイベントを継続的に実施し、利用の促進を図った。

また「あわ文化発信拠点」文化の森の魅力をさらに高めるため、図書館の機能強化・資料の充実を図るとともに、徳島発の世界に誇れるユニバーサルミュージアムを目指した取組を拡充した。

## II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から日本創成へ！「徳島ならではの」の教育の推進	「新未来創生キャンパス（仮称）」創造加速化事業	<p>高校を核とした「まち・ひと・しごと創生モデル」を実現し、地域の未来を担う人財を育成するため、阿南光高校の新野キャンパスにおいて、高大接続教育の常時展開や積極的な地域開放によりにぎわい交流拠点となる新たなキャンパス立ち上げに向けた取組みを推進した。</p> <p>(943)</p>
	阿南工業高校・新野高校再編統合推進事業	<p>阿南工業高校と新野高校を再編統合し、平成30年度に開校した阿南光高校において、6次産業化をはじめとした農工商一体の教育を推進するため、必要な実習機器を宝田キャンパスの改築校舎等に導入し、教育環境を整備した。</p> <p>(11,013)</p>
	6次産業化実践教育ステップアップ事業	<p>6次産業化教育に対応し、地域の活性化を担う即戦力となる人材を育成するため、農業・工業・商業科設置校等が連携し、6次産業化商品の開発を通して、「6次産業化をプロデュースする人材」を育成する実践的取組みを進化・発展させた。</p> <p>(2,776)</p>
	未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト	<p>児童生徒のしっかりとした勤労観や職業観を確立し、社会で活躍できる人財の育成を図るため、家庭や地域、経済団体等と連携し、起業体験活動、高校生による「ものづくり」発信、中学生への専門高校PRイベントや徳島で活躍する企業を見学するバスツアーの開催等、多様なキャリアパス実現のための事業を行った。</p> <p>(10,007)</p>
	スーパーオンリーワンハイスクール事業	<p>高校生自らが地域の課題解決に向けた活動を通じて、魅力ある学校づくりや地域を活性化させることを目的とし、実施校の取組を支援するとともに、生徒活動発表会の開催や発表要旨集を発刊して、その成果を広報した。</p> <p>(9,710)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならでは」の 教育の推進	「NIPPON」探究スクー ル事業	我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和 における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」,「NIPPON」の 中の徳島について探究する学校を育成するとともに「公共」について考える取組を支援し た。  (1,004)
	特別支援学校「エシカルチャ レンジ」事業	特別支援学校の児童生徒の社会参加と能力開発を推進するため、「学校のエコ ステーション化」や企業と連携した新商品開発など、エシカル消費の活動 にチャレンジした。  (1,965)
	特別支援学校「みんなが主 役」きらめき事業	特別支援学校の児童生徒一人一人が「主役」となり、将来にわたって地域 で活躍できる力を身につけるため、文化的な体験学習や職業スキルを活かし たフェスティバル、四国霊場札所でのお接待活動等を実施した。  (8,697)
	人口減少社会に対応した小中 一貫教育推進事業	過疎・少子化の進行により小規模化が進む中、学校を存続させ、かつ教育 の質を保障する「チェーンスクール」及び「パッケージスクール」という2 つの学校教育のかたち（徳島モデル）を県下全域に周知し、普及・推進を図 った。  (4,487)
	二地域居住を加速する「デュ アルスクール」実証事業	地方と都市の交流人口の増加による地方創生と少子化への対応、子どもの 豊かな体験機会の提供による感性の育成を図るため、二地域居住にも対応し た「新しい学校のかたち」のモデル化に向け、事例を積み重ねた。  (4,748)
	ふるさと創生拠点ハイスクー ル推進事業	人口減少が急速に進む地域の高校において、その魅力化や活性化を通じて 地域の新たな活力を創出するため、豊かな資源を活かした教育プログラムを 構築し、県内外から生徒が集う学校づくりを進めた。  (7,813)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！ 「徳島ならで は」の教育の推 進	進化する教室イノベーション事業	ICTを活用した「わかる授業」の効果を普及するため、モデル校の普通教室に移動式常設電子黒板を設置し、全ての授業で既存タブレットと連携させた、生徒の理解を深める授業実践を推進した。 (17,140)
	第4次産業革命時代に活躍するためのプログラミング教育事業	第4次産業革命時代の未来社会に活躍できる人材を育成するため、小学校段階でのプログラミング教育の実施に向けて調査研究を行うとともに、実践的なプログラミング教育の実施に向けて教職員の指導力向上を図った。 (1,800)
	教育関係ビッグデータ活用実証事業	児童生徒の学力や学習意欲、さらには教員の指導力等の総合的な教育力を向上させ、新しい未来を創造できる人材の育成に役立てるため、教育ビッグデータの分析・活用方法についての検証に取り組んだ。 (1,131)
	高等学校の多様なニーズに応える遠隔教育推進事業	過疎・少子化の進行により小規模化が進む高校を多様な教育活動や魅力的な授業の展開により活性化するため、生徒の学習ニーズに対応した徳島ならではの遠隔授業の実施体制を構築し、そのノウハウを県内外へ発信した。 (2,880)
	高校施設耐震診断・改修事業	阿南工業高校と新野高校の再編統合において、生徒の安全・安心を確保するため、耐震改修と内部改修の一体整備を行った。 (726,662)
	県立学校避難所施設強化・充実事業	県立学校を中核的な避難所と位置づけ、避難所としての機能強化を図るため、必要な施設の整備を行った。 (187,382)
	高校生防災士育成・活躍推進事業	「あわっ子防災士養成講座」を開催し、高校生の防災士資格取得を支援するほか、「防災クラブ」を拠点として、学校防災の牽引役、地域防災の若い活力として育成した。 (5,284)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！ 「徳島ならで は」の教育の推 進	ふるさと大好き！地域防災推 進事業	全ての高等学校に「防災クラブ」を設置し、中学校にも設置を広げ、地域 と連携した防災ボランティア活動等に取り組むなど、将来の防災の担い手の 育成を図った。  (2,800)
	実践的防災・安全教育総合推 進事業	学校における安全教育の充実と推進を図るため、国費事業（学校安全総合 支援事業、学校安全教室推進事業）を活用し、災害安全、交通安全、生活安 全の3つの領域において、研究・実践・研修に取り組んだ。  (3,448)
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	めざせ!!「Super Student」プロ ジェクト	知・徳・体の調和が取れ、高い志を持ち、将来的に社会の各分野を牽引し ていく高い人間力を備えた「Super Student」育成を目的とし て、「徳島ウインターキャンプ」「科学五輪チャレンジ事業」「夢チャレンジ アシスト事業」「Super Student サポート事業」を実施した。  (2,497)
	徳島「未来の学び」創造プロ ジェクト	新しい学習指導要領において示された学力の向上のためのPDCAサイク ルを確立し、全国学力・学習状況調査や本県独自の学力・学習状況調査等で明 らかになった課題の克服を行うため、授業改善等の研究実践の推進校を設定 し、大学等の専門的知見・技術を生かした教員の指導力向上及び学校の教育 力向上のため継続的な指導・助言・支援を行うとともに、その成果を計画的 に県下の学校に普及した。  (10,034)
	幼児教育推進体制構築事業	「全ての幼児に提供される質の高い幼児教育」を目指し「徳島県幼児教育 振興アクションプランⅡ」をより実効性のあるものとして推進するために幼 児教育推進体制を構築し訪問指導の充実、保幼小連携・接続の普及、大学と の連携を推進した。  (4,833)
	道徳教育総合支援事業	学習指導要領を踏まえて道徳教育の抜本的改善・充実を図るため、地域に 根ざした創意工夫ある道徳教育の取組に対して支援を行うとともに、道徳教 育に係る指導内容・方法等の周知を図った。  (3,380)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進	阿波っ子“いきいき”未来応援プロジェクト	いじめや不登校などの児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見のためにスクールカウンセラーを各学校等に配置した。また、スクールソーシャルワーカーを市町村教育委員会に配置するとともに、学校問題解決支援チーム派遣として、より高度で専門的な知識を有するスクールプロフェッサー（医師、臨床心理士、社会福祉士等）を学校等に派遣し、教育相談体制の充実を図った。 <p style="text-align: right;">(104,363)</p>
	人権教育研究推進事業	文部科学省「人権教育研究推進事業」の委託を受け、学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究（人権教育総合推進地域事業）並びに学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究（人権教育研究指定校事業）を実施し、県内の人権教育の一層の推進を図った。 <p style="text-align: right;">(1,826)</p>
	人権教育研究指定校事業	文部科学省指定の小学校・中学校に加え、県指定として幼稚園等と高等学校（特別支援学校を含む。）において、人権尊重の精神の涵養を図るための学校教育の在り方についての実践的な研究を実施した。 <p style="text-align: right;">(360)</p>
	中・高生による人権交流事業	県内の中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通して、人権尊重の理念についての理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てることを目的として、「中・高生による人権交流集会」を実施した。 <p style="text-align: right;">(1,170)</p>
	阿波っ子すこやか「いのちと心はぐくみ」プロジェクト	いじめや不登校、自殺、児童虐待等、児童生徒の生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見・早期対応のために、児童生徒の問題解決に向けた実践力の育成を目指した「いじめ防止子ども委員会」の設置や「全国いじめ問題子供サミット」への参加、人権尊重の精神の涵養に資する「いのちに関する作品募集」、さらなる教育相談体制の充実を図る「スクールロイヤーの活用」等を行った。 <p style="text-align: right;">(2,497)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	いのちを守る子どもサポート 事業	将来にわたり自他の生命を守ることができる児童生徒を育成するため、専門的知見を有する外部人材を活用した「いのちを守る講師派遣事業」や、大学と連携した「徳島版予防教育」を実施した。また、困難やストレスに直面した児童生徒が、一人で抱え込むことがないように、教職員に対し、命の門番としての適切な対応力や、SOSの出し方に関する教育等の指導力の向上を図るために「ゲートキーパー養成研修」を実施した。  (2,805)
	体力アップ！サンライズ事業	運動習慣の確立や望ましい生活習慣を形成し、体力向上に向けた県民への啓発活動を行う事で、子供の体力・運動能力の向上を図るため、ICTを活用したランキングシステムによる「NEW キッズ&ジュニアわんぱくランキング」を実施した。  (2,905)
	徳島プロスポーツ感動体験推 進事業	児童生徒の運動に対する興味や関心を高めるために、プロスポーツ選手を手本とした体力向上テキストの作成や、へき地学校の児童生徒をプロスポーツの試合に招待した。 さらに、中学校・高校の部活動に専門的な指導者を派遣し、競技力のレベルアップを図った。  (1,972)
	元気なあわっ子！応援事業	徳島の未来を担うすべての子供たちの健康づくりを目指して、平成27年12月に制定した「元気なあわっ子憲章」の普及啓発を図った。 本県の子供たちの特徴的な健康課題である「肥満予防」「生活習慣の改善」を図るため、すべての公立学校で「生活習慣改善プロジェクト」を作成し、各学校の実情にあった取組を推進した。 学校、地域の講習会、研修会等に専門家を派遣し、学校、家庭、地域が連携して児童生徒の健康課題を解決するための体制づくりと取組を支援した。また、専門家と連携し、研修会等を実施した。 小学生親子を対象に元気なあわっ子道場を開催し、小児期からの家庭での健康づくりを支援した。  (1,199)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	教職員研修費	教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続け、自己を高める教職員を支える多様な研修講座を総合教育センターを中心に実施し、教育力の向上を図った。また、初任者研修における校内研修の指導員等を各校に派遣し、効率的・効果的な研修を推進した。 <p style="text-align: right;">(17, 223)</p>
	新しい時代を切り拓く教員育成事業	平成29年4月1日の教育公務員特例法の一部改正法の施行をうけ策定した、教員等が高度専門的職業としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質・能力を示した「とくしま教員育成指標」を改訂（平成31年2月）するとともに、指標を踏まえて研修体系を構築した、「とくしま教職員研修計画」を作成し、計画に基づき研修を実施した。 <p style="text-align: right;">(8, 540)</p>
	スクール・サポート・スタッフ配置事業	教員の事務作業等の負担軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフを配置し、教員がより児童生徒への指導や教材研究に注力できる体制を整備した。 <p style="text-align: right;">(4, 478)</p>
	教職員職場復帰支援事業	職場復帰した教員のメンタル不調再発防止のため、復帰後のフォローアップとして、定期的に復帰者の在籍校へ臨床心理士等を派遣し、本人及び管理職等に対して専門的な知見に基づく助言・指導を実施した。 <p style="text-align: right;">(343)</p>
	部活動指導員配置促進事業	学校の働き方改革の一環として、部活動における教員の負担軽減と質的な向上を図るため、中学校に部活動指導員を配置した。 <p style="text-align: right;">(1, 680)</p>
	放課後子供教室推進事業	放課後や週末等の子供たちの安全な居場所を確保し、学習、スポーツ、芸術、交流などの活動を行う放課後子供教室の実施に対して、支援等を行った。 <p style="text-align: right;">(33, 774)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	地域ぐるみの学校支援事業	幅広い地域住民等の参画による学校の支援体制である地域学校協働本部（学校支援地域本部）の活動を推進した。また、中学生に対する学習支援として、地域未来塾を実施した。 (7,219)
	週末等の教育支援体制構築事業	週末等（土曜日、日曜日、祝日）や長期休業日において、子供たちに地域人材による多様な学びや体験の機会を提供する取組を推進した。 (328)
	家庭教育推進・強化事業	各家庭で家庭教育に自主的に取り組むことができる環境を整備することを目的として、保護者同士が学び合うための学習用教材の活用を広げるためのファシリテーターを養成し、県内各所でワークショップを実施するために派遣した。また、PTA関係者等が参加する家庭教育に関する研修会、父親や祖父母世代を対象とした家庭教育に関する講座等を実施した。 (2,223)
	障がい者の生涯学習支援事業	県立総合大学校「まなびーあ徳島」に「障がい者の学びコース」を開設し、県立障がい者交流プラザにおいてスポーツや文化・芸術、生涯学習等に関する講座を実施した。 (1,156)
	新次元の消費者教育推進事業	自立した消費者の育成のために、多様な主体と連携・協働し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校における発達段階に応じた消費者教育や、持続可能な社会の実現に向けた「エシカル消費」教育を推進した。 (8,234)
	学校における主権者教育推進事業	主権者教育に関する高等学校及び特別支援学校高等部担当教員の指導力向上のための研修や、児童生徒に対しての政治参加への意識を高めるために、大学教員や選挙管理委員会、県教育委員会指導主事等による出前講座等の実施により、主権者教育の一層の推進をした。 (801)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	輝け高校生！文化芸術創造・発信事業	本県の文化力を全国に発信するため、平成27年に文化芸術リーディングハイスクールに指定した名西高校を文化芸術教育の拠点校として育成するとともに、耐震補強整備を終えた城北高校人形会館を活用し、阿波人形浄瑠璃の伝承に取り組んだ。 <p style="text-align: right;">(15,903)</p>
	羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業	徳島の伝統文化を担い誇りを持って県内外に発信し続ける人財を育み、中学生の文化芸術発信力を高めるため、県内全公立中学校1・2年生を対象とし「あわ文化検定」を実施するとともに「あわっ子文化大使」の育成を推進した。 <p style="text-align: right;">(3,547)</p>
	Tokushima 英語村プロジェクト・ステップアップ事業	小・中・高等学校を通じて英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成を図るとともに、広く世界に目を向け、国際協調の精神を育むため、小・中・高校生を対象に英語をベースに外国人と交流する取組を実施した。 <p style="text-align: right;">(17,775)</p>
	徳島グローバルスタンダード人材育成事業	友好協定を締結しているドイツ・ニーダーザクセン州や、アジア諸地域との間の学校間交流において、ツールとしての英語を用い、各学校の特色を生かしたより深化した学習を行った。 <p style="text-align: right;">(3,824)</p>
	帰国・外国人児童生徒“いきいき”事業	要望があった学校へ日本語講師を派遣し、日本語指導が必要な児童生徒への効果的な日本語教育を行った。また、日本語講師や教職員に指導のノウハウを教える研修を行った。 <p style="text-align: right;">(5,058)</p>
	外国人英語指導助手配置事業	招致した外国人英語指導助手を総合教育センター学校経営支援課に1名、県立高校に20名を配置し、配置校での授業や、学校訪問指導等において英語の指導を行った。 <p style="text-align: right;">(101,180)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	先進とくしま「世界とつながる英語力」育成事業	英語力の向上を図り、グローバル人材を育成するため、中学校1年生から高校3年生までを対象に「英語能力判定テスト」を実施した。また、中高の英語教員の指導力と英語力向上のため、全教員の資格取得を目指し、未取得者に対し、検定料の補助を行った。 (16,935)
	スーパーグローバルハイスクール事業	指定校に選ばれた徳島県立城東高等学校（全国123校の1校）において、「四国徳島発・グローバル企業の創造戦略について」を研究テーマに、国際化を進める大学（大阪大学、徳島大学）、グローバル展開する徳島発祥の企業（大塚グループ、日亜化学工業）と連携して、課題研究に係る4年目の取組を行った。 (5,658)
	海外における商業教育システム構築支援事業	現地教員の育成と商品開発、生産、販売による「カンボジアー日本友好学園」の安定した学校運営のモデル化とともに、商品生産のための工場整備を実施した。 (11,665)
	県立学校スポーツ施設レガシー創出事業	競技力の向上はもとより、スポーツを通じた地域の活性化を図るため、各種大会の開催を見据えて、県立学校スポーツ施設の整備を進めた。 (237,567)
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	未来のトップアスリートを徳島から発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高校をスポーツの拠点校として、県内アスリートの体力を科学的に測定・分析し、専門家のサポートを行ったほか、専攻実技8競技への強化費支援、部活動指導者へのスキルアップ研修等を実施した。 (7,531)
	徳島トップスポーツ校育成事業	本県高校スポーツの競技力向上と普及・振興を図り、全国大会で入賞できる部活動を育成するため、強化推進校・普及推進校、地域活性化校の3つのカテゴリーに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援した。 (12,420)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	あわスポーツ・ブルーミング戦略事業	長期的な展望に基づき、競技団体と連携し、選手の育成・強化を図るため、県高体連へのトップスポーツ校以外への強化費助成、県中体連への四国・全国総体への強化費助成、県小体連への体操発表会、水泳検定、陸上競技記録会への助成を実施した。 (6,920)
	中学校トップスポーツ競技育成事業	本県中学校スポーツの競技力の向上と普及・振興を図り、全国大会で活躍できる競技者を育成するため、中学校体育連盟加盟競技専門部の中からトップスポーツ競技を指定し、中学校体育連盟及び専門競技部に支援した。 (5,584)
	第38回近畿高等学校総合文化祭徳島大会開催事業	高校生の文化力を全国に発信するため、阿波の伝統文化継承に取り組む学校や、文化活動の充実・発展に取り組む県高等学校文化連盟と協力し、近畿ブロック知事会の共同事業である近畿高等学校総合文化祭徳島大会を開催した。 (75,136)
	ユニバーサルミュージアム展開事業	より多くの人に美術を楽しむ機会を広げるため、「ユニバーサル美術館展」の開催による情報提供手段の開発・実証や、美術館ロビーの「ウェルカム機能の強化」の他、多様なニーズに応える映像・音声コンテンツの情報発信を実施し、アクセシビリティの向上を図った。 (4,500)
	県立図書館「知の拠点」事業	新たな100年に向け「一歩先の未来を先取る図書館」を目指し、電子書籍提供システムを導入するとともに、子どもの本等の資料の充実や読書振興、市町村立図書館・学校図書館のサポートを図り、県民の読書、仕事、知的探究を応援する「知の拠点」として、機能強化を図った。 (44,475)
	「新生・野外劇場」活用事業	「新生・野外劇場」の知名度を高め、今後の利用につなげるため、公演・イベントを企画・実施し、広く県内外にPRを行い、LED・デジタルアートミュージアム作品との相乗効果による入館者の増加を図った。 (16,898)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果										
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	文化の森各館企画展等開催費	<p>本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。</p> <table data-bbox="1041 363 1568 526"> <tr> <td>(1) 博物館</td> <td>5,427</td> </tr> <tr> <td>(2) 近代美術館</td> <td>16,779</td> </tr> <tr> <td>(3) 文書館</td> <td>587</td> </tr> <tr> <td>(4) 21世紀館</td> <td>2,367</td> </tr> <tr> <td>(5) 鳥居龍蔵記念博物館</td> <td>2,746</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計 (27,906)</p>	(1) 博物館	5,427	(2) 近代美術館	16,779	(3) 文書館	587	(4) 21世紀館	2,367	(5) 鳥居龍蔵記念博物館	2,746
(1) 博物館	5,427											
(2) 近代美術館	16,779											
(3) 文書館	587											
(4) 21世紀館	2,367											
(5) 鳥居龍蔵記念博物館	2,746											

### Ⅲ 歳入歳出決算額

#### 1 一般会計決算額

##### (1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
教 育 政 策 課	139,408,000	139,318,614	139,243,922	0	74,692	△ 164,078
コンプライアンス推進室	0	0	0	0	0	0
施 設 整 備 課	400,680,000	384,071,075	384,071,075	0	0	△ 16,608,925
教 育 創 生 課	28,356,000	25,973,023	25,973,023	0	0	△ 2,382,977
教 職 員 課	11,597,725,000	11,569,189,810	11,569,189,810	0	0	△ 28,535,190
福 利 厚 生 課	29,684,000	29,847,048	29,847,048	0	0	163,048
学 校 教 育 課	4,103,473,000	4,087,806,283	4,087,698,043	0	108,240	△ 15,774,957
グローバル・文化教育課	7,926,000	7,821,302	7,821,302	0	0	△ 104,698
特 別 支 援 教 育 課	75,694,000	70,127,957	70,127,957	0	0	△ 5,566,043
人 権 教 育 課	64,445,000	365,993,995	69,077,209	30,200	296,886,586	4,632,209
体 育 学 校 安 全 課	127,476,000	92,322,952	92,322,952	0	0	△ 35,153,048
生 涯 学 習 課	21,912,000	21,565,800	21,565,800	0	0	△ 346,200
文 化 の 森 振 興 本 部	355,788,000	357,190,225	357,190,225	0	0	1,402,225
計	16,952,567,000	17,151,228,084	16,854,128,366	30,200	297,069,518	△ 98,438,634

## (2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 比 較
教 育 政 策 課	1,440,665,000	1,422,522,639	0	18,142,361	18,142,361
コンプライアンス推進室	954,000	825,746	0	128,254	128,254
施 設 整 備 課	2,477,918,000	1,558,074,934	851,322,000	68,521,066	919,843,066
教 育 創 生 課	51,067,000	42,356,834	0	8,710,166	8,710,166
教 職 員 課	63,061,626,000	62,804,800,028	0	256,825,972	256,825,972
福 利 厚 生 課	8,267,086,000	7,974,129,764	16,609,000	276,347,236	292,956,236
学 校 教 育 課	2,541,350,000	2,496,770,268	0	44,579,732	44,579,732
グローバル・文化教育課	97,951,008	94,586,437	0	3,364,571	3,364,571
特 別 支 援 教 育 課	160,462,000	147,588,921	0	12,873,079	12,873,079
人 権 教 育 課	198,374,000	180,650,465	0	17,723,535	17,723,535
体 育 学 校 安 全 課	208,069,000	166,729,535	0	41,339,465	41,339,465
生 涯 学 習 課	139,768,000	137,115,722	0	2,652,278	2,652,278
文 化 の 森 振 興 本 部	724,786,000	681,537,033	23,825,000	19,423,967	43,248,967
計	79,370,076,008	77,707,688,326	891,756,000	770,631,682	1,662,387,682

## 2 特別会計決算額

### (1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
学 校 教 育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	241,395,000	715,681,384	585,376,788	150,000	130,154,596	343,981,788
計		241,395,000	715,681,384	585,376,788	150,000	130,154,596	343,981,788

### (2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
施 設 整 備 課	県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計	250,000	249,155	0	845	845
学 校 教 育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	241,395,000	238,342,860	0	3,052,140	3,052,140
計		241,645,000	238,592,015	0	3,052,985	3,052,985